



センター通信

〒 123-0873 東京都足立区扇 1-12-20
TEL (03)3856-2728 FAX (03)5939-7880
URL www.wfc.or.jp

園長交代のお知らせ

理事長 山下 眞一郎

本年 4 月 1 日付けで暁星学園の榎藤園長が法人本部事務長に、小野寺特別指導員が園長に就任しましたので、お知らせ致します。

平成 17 年に社会福祉法人青少年福祉センターとして、新しい 1 歩を踏み出した当法人です。児童養護施設・自立援助ホーム・共同生活援助の 3 種類の事業を運営しているため、何かと事務処理が大変です。児童養護施設には事務職員がいますが、それ以外の 4 つの事業所には事務員がいない為、処遇担当の職員が事務や会計も兼ねているので大変です。彼らの業務を少しでも減らし、一括処理を出来るようにと本部をその折に立ち上げました。常務理事にまとめ役をお願いしていましたが、段々とその業務が多岐に亘るようになり、本部職員の取りまとめ役を設ける必要性を感じ、事務長職を事業所長と同列の職責として設けることにしました。

創立 50 年を迎えた折には、今後を見据えて、新宿寮や清周寮等の建て直しや扇敷地の見直し等ハード面については取り組み始めました。漸く、その第 1 弾として、今秋、長谷場新宿寮の着工に取り掛かれる運びとなりました。それと同時に、長谷

場夏雄の理念を継承していくためにも人材育成などのソフト面の整備も進めて生きたいと思っております。創立時は 4 畳半 1 間で始まった青少年福祉センターも 3 業種 6 事業所を運営する法人と大きくなりました。これからをしっかりと見据えて役員や職員と共に進んでいきたいと考えております。

そこで、当法人で訓練校開設当時から勤めている数少ない職員の榎藤聖一を、法人本部の事務長職に充てることとしました。常務理事と共に法人全体の動きを把握し、ハード・ソフト両面での支援を行っていただこうと思っております。

又、昨年入職した小野寺特別指導員に、1 年かけて本部の仕事を通じて暁星学園の仕事も見てもらっていましたので、彼を暁星学園の園長としました。今までの経験を忌憚なく発揮して、園長として職員や利用者を指導していただきたいと思います。

彼ら 2 人が、他の事業所長・職員たちと手を携えて青少年福祉センターの将来を築いて行かれますよう、皆様の暖かいご理解・ご支援をお願いいたします。

榎藤聖一事務長



昭和 33 年生。昭和 52 年 財団法人青少年福祉センター訓練校に入職し、その後、暁星学園に移行。平成 18 年 4 月より同上園長。福岡より上京し、訓練校の生徒を住み込みで兄のように

面倒を見てきました。廃品回収を初めとした運営資金獲得の為の作業を長谷場と共に長年勤めてきました。暁星学園に移ってからは副園長格で、事務処理を的確に行い外部との折衝もこなしてきました。今後は、これらの経験を活かして法人本部の職員を養成し、事業所長たちと連携して将来の青少年福祉センターを作り上げていかれることを望みます。

小野寺克彦暁星学園園長



昭和 27 年生。昭和 56 年社会福祉法人愛隣会 目黒若葉寮入職平成 18 年 10 月より同上園長。平成 24 年 4 月より当法人に入職。岩手県より上京し、会社員として勤めた後に、児童指導員・

園長として 30 年以上の経験を持っています。当法人に入職してからは、長谷場の理念や話を直接に聞いて、この法人の使命を感じてきました。

役員会に臨席をして、法人の意向を感じ、事業所長会、職員会議等で当法人の職員たちとも話し合い、暁星学園の存在意義も認識しました。今後は、職員の育成を初めとした利用者支援に取り組んで行かれることを望みます。

将来の発展を願って

前監事 村上敏雄



青少年福祉センター設立の理念は、年齢的に一番難しい、しかも一番大切な時期の児童の養護を行い、子どもが立派な社会人として自立できるようにすることです。

五十年有余経過した現在、その組織体としての活動も軌道に乗り、諸規程も整備されてきています。それも長い期間、それぞれの時期に携わってきた先達の努力の結晶だと痛感しています。

監事としての主な業務は、理事の業務執行の状況を監査することと、法人の財産の状況を監査することですが、監査にあたって、理事長をはじめ職員の方々が一体となって努力されている様子に

接し、かえって福祉について勉強させられました。

人々が、互譲の精神を養い、さらには、広く動植物をも愛する心を子どもの時から育てていくことが大切だと考えています。

職員の方々にお願いしたいことは、長い人生では、いやになることもあります、それには、めげずに前向きの姿勢で一生懸命に仕事に取り組み、誠意をもって周りの人と付き合うようにしていただきたいことです。私が今まで歩んできた人生で一番感じたことは、「人間関係」、「信義誠実の原則」の大切さです。文豪ゲーテは、「君の胸から出たものでなければ、人の胸を胸に引きつけることは決してできない。」と言っています。

青少年福祉センターの業務は、今後、ますます必要になります。心して取り組んでください。

新監事 木下喬介



私は、青少年福祉センターにお伺いしたのは、これで3度目になります。初めて伺ったのは今年の3月25日です。職員の皆様は礼儀正しく役員の皆様も同様に暖かく礼儀正しいと言う

感じで、非常に溶け込みやすかったです。荒船常務理事よりご紹介いただいた長谷場先生著の「かけがえのないあなたへ」を一読させていただきましたら、長谷場先生は「まず最初に全人格を受容、評価することから始め、それから直したい部分を強く指摘する。」とっておられます。職員の方、

役員の方にも長谷場イズムが浸透していて、非常に入りやすい環境だと納得しました。

私は、東京商工会議所に30年近く勤務し、55歳で独立開業し税理士として10年の経験があります。主に法人等の企業会計原則による決算書の作成で、私の作成した書類を税務署の人が調査します。法人の監査をすることについては経験が浅く、しばらくの間はご迷惑をおかけすることがあるかもしれません。前任の村上先生から拝借した監査の本や独自にまとめられた冊子を勉強させてもらいながら、皆様方のお仲間入りさせていただきましたらと、今後ともご指導の程をよろしく願いいたします。

役員改選

去る5月20日開催の当法人理事会及び評議員会において役員および評議員が下記の通り選任され就任いたしました。

何卒ご高承のうえ 今後ともより一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

| | | | | | |
|----------|--------|-----|-------------|-----|------------|
| 理事長・評議員 | 山下 眞一郎 | 理事 | 大屋 桂子 | 評議員 | 長谷川 健二 |
| 専務理事・評議員 | 長谷場 夏雄 | 評議員 | 小野寺 克彦 (新任) | 評議員 | 松本 耕造 |
| 常務理事・評議員 | 荒船 旦子 | 評議員 | 渡辺 茂雄 | 評議員 | 石丸 正史 |
| 理事・評議員 | 児玉 惟継 | 評議員 | 大嶋 恭二 | 評議員 | 松本 円 |
| 理事・評議員 | 遠藤 浩 | 評議員 | ロバート・ディーターズ | 監事 | 片倉 昭子 |
| 理事・評議員 | 権藤 聖一 | 評議員 | 根道 温子 | 監事 | 木下 喬介 (新任) |

成人式のご報告

第5回を迎える青少年福祉センター成人式が、平成25年1月19日、日暮里のホテルラングウッドで挙行されました。本年度は、47名の卒園生、卒寮生が成人を迎え、仕事の関係もあり当日は22名の新成人が出席しました。会場は、在園、在寮中にお世話になった関係機関の方々や職員との久々の再会に喜ぶ新成人や色鮮やかな晴れ着姿の女性たちで会場内は華やいていました。

また、新成人一人一人が壇上で挨拶を述べたおりに、感謝の言葉と共にしっかりと今後の抱負を述べており、退所後も社会の荒波にも負けず、自分を律し、成長している姿を見て私共も嬉しく、励まされました。人生の転換点でもある成人式をこの様に行えるようになりましたのも、ご協力下さいました皆様方のお蔭と、改めて感謝申し上げます。



進学者への支援 ななの会基金授与

永年、センターをご支援くださっているななの会様からの寄附を基に、センターに在籍又は退所した利用者で、大学や専門学校等へ進学する事が決定した者に対し、“進学支度一時金”として一人50,000円、更に卒業が決定した者に対し、“卒業お祝い金”として一人50,000円を支給します。

学業費用面での支援を図ることを目的とする基金です。今年度は、在籍利用者3名、退所利用者4名の計7名への支給が決定しました。3月25日の理事会・評議員会開催時に授与式を行いました。

それぞれの夢に向かって、一生懸命勉強に励む彼ら彼女らの活躍を応援しつつ、これからもバックアップに努めて参りたいと思っております。



永年勤続表彰

センターでは、永年勤務している職員に対し永年勤続表彰を行っています。今年度は、8人が表彰となり、3月25日に表彰式を行いました。



| | | |
|--------|-------|-------|
| おうぎ寮 | 大屋桂子 | 勤続20年 |
| 暁星学園 | 角田千恵子 | 勤続15年 |
| 本部 | 坂井孝行 | 勤続10年 |
| 新宿寮 | 中澤敦子 | 勤続5年 |
| 清周寮 | 平木久美子 | 勤続5年 |
| あけの星学園 | 佐藤淳文 | 勤続5年 |
| | 金城幸代 | 勤続5年 |
| | 村松繁子 | 勤続5年 |



児童養護施設 暁星学園のようす

(定員 36 名)

児童 9 名が、ゴールデンウィークに 2 泊 3 日で、みなかみ町の農家にホームステイをしてきました。農業体験では、スイカやごぼうの植ええや、山菜や菜っ葉の収穫も行いました。お米がおいしいのはもちろん、山菜のてんぷらやおこわは絶品でした。実際の農家である杉木さんご夫婦は、家族の一員として児童たちを迎えて下さり、田舎の親戚の家に遊びに行ったような感覚で、ゆっくり過ごす事ができました。子どもたちの「また行きたい」という声を受けて、夏休みにも 2 泊 3 日で杉木さんに会いに行く予定です。



植ええの様子

児童養護施設 あけの星学園のようす

(定員 20 名)

高校 3 年生女子 A さんは美容師になる夢を持っています。しかし、資格取得のための専門学校への入学費用が本人の貯金では足りず、卒業後は販売系の就職を考えています。本人としては奨学金を借りてではなく、自分で貯金をして専門学校へ通いたいという強い意志を持っています。そのため、今年からアルバイトを始め順調に継続し、貯金もできつつあります。

A さんだけでなく他 5 名の就職予定者を含め、約半年間という残された短い時間の中で、それぞれの夢が実現できるよう、職員と共に一緒に頑張っていきたいと思います。



自立援助ホーム 新宿寮のようす

(定員男子 15 名)

寮生にとって、「ゴールデンウィーク」とは名ばかりで、サービス業に従事する者も多いため、大型連休を取得できた利用者はほとんどいません。しかし、少しでも余暇活動を推進し、心身共に充実した自立を目指すため、釣り行事、ボーリングやフットサル行事などを企画しました。年頃の男の子のせいか、素直に「楽しい！」



つり行事の様子

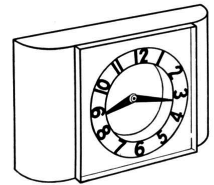
と言わずとも、その表情は一样に明るく、仕事疲れならぬ、遊び疲れ？を体感できたと思います。

これからは夏真っ盛り！海水浴、花火大会、夏の旅行と楽しいことが目白押しです。仕事も遊びも精一杯やることで、新宿寮職員は彼らの健やかな成長を期待しています。

自立援助ホーム 清周寮のようす

(定員女子 15 名)

先日 2 年間在籍していた 2 人の寮生が無事自立しました。退寮の際に日頃から合同の行事を実施したり、相談に乗ってもらったりしている竹ノ塚警察の少年課にお菓子を持って自立の報告に行きました。警察の方からも「おめでとう。」と祝って頂き 2 人の寮生に置時計のプレゼントを下さいました。「これからは自立先のアパート周辺の見回りを強化してあげるね」とも言って頂き、今でも良き相談相手として連絡を続けています。



自立援助ホーム おうぎ寮のようす

(定員 6 名)

最近の入所者の傾向として、専門学校に通う寮生が 6 名中 3 名いることがあげられます。学んでいる科目は、保育・介護・ホテルサービスです。彼らは、学校以外にも障害者施設指導員・病院のケアスタッフ・レストラン接客の仕事をしています。仕事を継続することも難しい在寮生ですが、学校と仕事を両立することはさらに大変です。その困難を乗り越え、それぞれの夢を叶えられるよう支援していきたいと思います。

7 月 6 日(土)「第 2 回おうぎ寮祭」を行いました。アフターケアの一環として退寮した人達を招いて交



おうぎ寮祭の様子

流を深める行事で、当日は退寮生と共に他事業所に異動した職員も集い、賑わいました。今後も継続して行きたいと思っておりますので、皆様のご支援・ご協力をよろしく申し上げます。

て、皆が、気持ちよく過ごせるようにと考えてくれます。職員は24時間体制ではないので、彼女がお母さんのように、一人住まいを始める前に必要な家事全般につ



いて、他の利用者さんにも教えています。仕事も少しずつ軌道に乗り、自立への道を職員と共に考えています。地道ながらも1歩ずつ進んでいる彼女に、皆で支援を続けていきます。

共同生活援助 ノエルのように (定員5名)

今年度、契約を更新したMさんは、きれい好き。自分の部屋は勿論、共有部分についても職員を手伝っ

扇バザー開催



7月13日(土)に足立区扇の暁星学園敷地内にてバザーを開催しました。昨年までは10月に開催していましたが、毎回地域の皆様にご好評いただいたために、今年は10月に加え、7月のこの時期にも開

催することとなりました。今年からの新しい試みとして、豪華賞品の当たる抽選大会を行い大変ご好評をいただきました。売上金は、退所した児童のアフターケアに使用される「アフターケア基金」として活用させていただきます。

なお、例年通り、10月にも同じく足立区扇の暁星学園敷地内にてバザーを開催しますので、皆様ぜひお越しくださいませ。(詳細が決まり次第センターホームページにて公開する予定です。)

【第2回扇バザー】

日時:10月12日(土)・13日(日)

場所:足立区扇 1-12-20 暁星学園敷地内

新任職員研修



児童・社会のニーズに応えるべく、昨年度後期の採用者も対象として新任研修を行いました。初日は、暁星学園にて辞令交付式の後、センターの初期の頃の活動内容をDVDで鑑賞しました。創始者・長谷場夏雄専務理事より、当法人の歴史や設立の思いの講話を受け、更に各事業所長による社会人としての心構えを聞き、グループディスカッションも行いました。生い立ちや年齢も様々な参加者ではありましたが、何を指し、何をすべきかを実感したようです。二日目は、あけの星学園にて、社会人として必要なビジネスマナーの確認や

先輩職員の体験談を直接聞く機会を設け、多少なりとも不安を払拭したのではないかと思います。研修全体では、横の繋がりが強くなるようにとグループワークを多く取り入れました。参加者からは「同期」という言葉が多く聞かれ「決して一人ではない」という気持ちが芽生えてくれたようです。私たちの職場は、決して一人ではできません。いつも仲間がそばにいて、苦しい時は必ず助けてくれます。そのためにも、先ず相手を知り、素直に助けを求め、それに対して必ず手を差し伸べる関係であることが大切なのです。それらの第一歩として新任職員研修を実施しましたが、翌日からは実践が始まります。今回学んだことは、同期だけではなく配属先の部署や事業所、そして法人全体でも同様であることを理解し、子ども達の未来のために活躍してもらいたいと思います。今後、秋にはフォローアップ、年度末には1年間の振り返りを行い、長く一緒に働くことができるような環境を整えたいと考えております。

| | 勘定科目 | 法人合計 | 本部 | 新宿寮 | 清周寮 | おうぎ寮 | 暁星学園 | あけの星学園 | ノエル |
|------|-----------------|-------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|
| 経常収入 | 行政からの収入 | 480,680,403 | 0 | 37,615,100 | 43,454,114 | 23,107,966 | 232,864,533 | 139,951,590 | 3,687,100 |
| | 利用料収入 | 11,537,034 | 0 | 2,450,000 | 4,383,940 | 2,057,000 | 0 | 0 | 2,646,094 |
| | 寄附金収入 | 13,435,947 | 9,328,824 | 1,600,878 | 883,900 | 600,900 | 30,000 | 253,000 | 738,445 |
| | 雑収入 (受取利息含む) | 21,983,631 | 7,240,209 | 1,862,070 | 3,580,350 | 669,983 | 5,829,570 | 2,689,347 | 112,102 |
| | 繰入金収入 | 22,972,429 | 9,542,803 | 2,500,000 | 180,000 | 150,000 | 3,599,626 | 0 | 7,000,000 |
| | 収入計 | 550,609,444 | 26,111,836 | 46,028,048 | 52,482,304 | 26,585,849 | 242,323,729 | 142,893,937 | 14,183,741 |
| 経常支出 | 人件費支出 | 356,605,155 | 11,859,625 | 28,523,791 | 34,682,135 | 25,618,936 | 165,459,088 | 86,942,196 | 3,519,384 |
| | 事務費支出 | 62,328,825 | 8,129,540 | 3,732,894 | 4,309,187 | 2,261,990 | 25,651,877 | 15,587,487 | 2,655,850 |
| | 事業費支出 | 81,494,744 | 0 | 5,497,169 | 5,275,168 | 1,978,191 | 44,499,957 | 23,283,831 | 960,428 |
| | 借入金利息支出 | 1,476,500 | 0 | 300,000 | 0 | 0 | 1,176,500 | 0 | 0 |
| | 繰入金支出 | 22,972,429 | 13,429,626 | 0 | 0 | 0 | 7,642,803 | 1,900,000 | 0 |
| | 支出計 | 524,877,653 | 33,418,791 | 38,053,854 | 44,266,490 | 29,859,117 | 244,430,225 | 127,713,514 | 7,135,662 |
| | 経常活動 資金収支差額 | 25,731,791 | -7,306,955 | 7,974,194 | 8,215,814 | -3,273,268 | -2,106,496 | 15,180,423 | 7,048,079 |

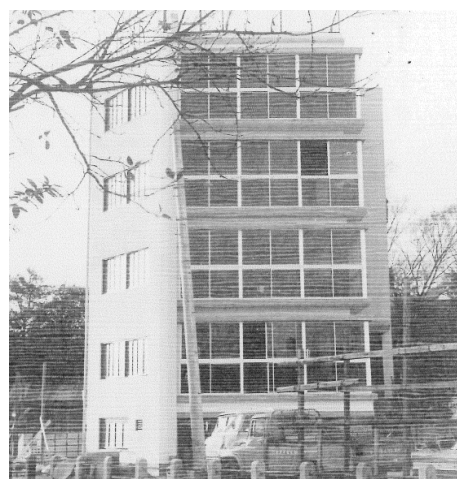
長谷場新宿寮 着工に向けて

震災の影響により延期となっておりました新宿寮の移転工事が、本年9月いよいよ着工予定となりました。現在の新宿寮は、東京オリンピックの開催された昭和39年竣工しました。当時、施設出身者のアフターケア施設として活動していた新宿寮は、増え続ける子どもたちで木造2階建ての建物は手狭になっており、下落合駅から中井駅にかけて5、6箇所のアパートを借りて活動していました。しかし、国や東京都からの補助はなく、家賃支出に苦勞していました。そんな中、「家が大きくなれば大勢の人に利用してもらえる。」「1人でも多くの施設出身者に僕たちのこの幸福感を味合わせてあげたい。」といった思いで、利用者、退所者、職員が作業員となり、またあけの星会様はじめILBS様、また多くの後援者の方々からの援助を受け、現在の5階建ての建物は建築されました。

それから50年という時代の変遷とともに戦災孤児はいなくなりましたが、児童虐待に代表されるように児童を取り巻く環境は年々深刻となっており、それに伴い施設の担う役割は益々大きくなっています。被虐待児童や不適切な養育環境で過ごしてきた

子どもたちは、心の傷や深刻な生きづらさを抱えています。新しい新宿寮が、こうした子どもたちの「実家」として安心感を持てる場所となり、大切にされる体験を積み重ねることで信頼関係や自己肯定感を取り戻していかれるように今後も職員一同一所懸命に努めていきたいと考えております。

今回このような計画を行うことができますのも、多くの方々からの温かいご支援があつてのことです。改めて、厚く御礼申し上げます。



竣工当時の新宿寮

今年度よりセンター通信を担当することになりました小川と申します。昨年度まで新宿寮で勤務しておりましたが、今回新宿寮の変遷を辿る中で初めて当時の建設についての思いを知りました。建築基準法の関係で現在の土地での建替えは叶いませんでしたが、移転地の足立でも早く地域に定着できるよう法人としても努めて参りますので、ご協力お願いいたします。